# 千里の鳥・万博の鳥

A4版第82回

## 『万博公園の幼鳥たち』

種名：幼鳥たち／撮影日：2019年6月
撮影場所：万博公園／撮影：有賀憲介氏

万博公園及びその周辺で繁殖する鳥は20種ほど、梅雨明けが近づくころ、その大部分の幼鳥は自分で餌取りができるようになり、親鳥は子育てから解放されている。小鳥類の繁殖ステージは、「造巣期・抱卵期・巣内育雛期・巣外育雛期・幼鳥独り立ち期」の段階を経るが、それぞれに半月あまりかかるため、2～3か月の間、親鳥はフル回転で子育てに当たっている。

今回はそんな幼鳥の生活から、6月の万博公園で有賀氏が確認された幼鳥4種を紹介する。

**①左上…セグロセキレイ**　巣立ち直後で巣外育雛期の幼鳥は、親鳥とほぼ同じ大きさに育ったものの、幼鳥の口の赤色を見て、母性本能をくすぐられた親鳥が餌を運んでいる。

親鳥は幼鳥に早く餌取りを覚えてもらおうと、餌のある所へ幼鳥を連れていき、餌になるのは何か、餌をどう取るかなどを教えると、幼鳥は餌のことを徐々に覚え、独り立ち期へと成長する。

**②左下…ツバメ**　親鳥が餌を運んでくるのを待つ間だろうか、親鳥のように日光浴中である。

強い骨をつくるためにはカルシウムの吸収をよくするビタミンDが必要となるが、ビタミンDが日光浴（紫外線）で作られるのは、鳥も人と同じである。

**③右上…ヤマガラ**　自分で餌取りができるまでに成長した独り立ち期、餌の幼虫?を両足で挟んで、食べている。

このヤマガラも秋になると、エゴノキの実を両足でうまく挟み、くちばしでコツコツ突ついて、食べるようになると思われる。

**④右下…ハクセキレイ**　水辺を歩いていて、自分で餌の動く虫を見つけたようである。

万博公園のセキレイ繁殖は、1990年代までは日本特産種セグロセキレイのみであったが、2000年代に入るとハクセキレイも繁殖するようになり、今では両種が競合しつつも棲み分け繁殖しているので、今年6月探鳥会では両種の幼鳥を、ほぼ同じ所で観察した。

この幼鳥たちは7月になると完全に独り立ちするので、子育てから解放された親鳥は、一年使って傷んだ羽を脱ぎかえる換羽（かんう）の季節に入っている。換羽中は飛びにくいこともあって活動的でなく、静かにしていることから、野鳥に気付かず観察しにくくなる。

7月は梅雨明け直後で猛暑の季節、熱中症対策に水分をたっぷり持参し、木陰を静かに歩くと、鳥の生活音が聞こえるので、耳を澄まして鳥の声が聞こえれば幸せ、というウオッチングはいかがだろう。

## 7月の探鳥会案内

### ①日本野鳥の会大阪支部主催・万博公園定例探鳥会

芝生広場やせせらぎではセグロセキレイ・ハクセキレイ、そして林ではヤマガラ・シジュウカラなど、万博公園で生まれ、独り立ちした幼鳥との出会いを楽しみに、園内を一巡する予定。

▽**日時**…7月13日（土）9時30分～15時頃▽**集合**…万博公園自然文化園中央口（モノレール万博記念公園駅から徒歩5分）▽**解散**…日本庭園の予定▽**担当**…足立道成氏他▽**持ち物**…筆記具・名札・双眼鏡、弁当、熱中症対策の水分を充分に▽**服装**…ハイキングと同じ▽**参加費**…大阪支部会員100円、非会員200円、他に、万博公園入園料250円が必要

### ②吹田野鳥の会主催・京都御苑アオバズク観察会

野鳥の子育てが一段落し、親鳥が換羽に入り静かにしているため、野鳥に気づき難くなるが、この時期に観察できるアオバズクを中心にした観察会を、京都御苑で開催する。京都御苑の巨樹の洞で営巣中のアオバズクを、遠くから静かに観察したいと思っている。

▽**日時**…7月21日（日）9時30分～12時▽**集合**…京都御苑間ノ町口（京都地下鉄・丸太町駅北改札口を出てコンビニ前を右折、地上へ出て直進、左側に間ノ町口）▽**解散**…京都御苑内の予定▽**担当**…平軍二氏他▽**持ち物・服装**…万博公園探鳥会と同じ。ただし、弁当は自由▽**参加費**…吹田野鳥の会会員は無料、非会員200円

＊問い合わせ①②とも…090-6901-1425平（ひら）軍二さん